

春の連休期間中における山岳遭難の防止

～万全な準備で遭難事故を防ぎましょう～

■春山登山の注意事項

①体力、技術に合った登山計画を立て、登山届を提出するとともに、家族や登山仲間にも知らせましょう。

②単独登山は避け、経験豊富なリーダーと登りましょう。

③万が一に備えて、食糧、雨具、ライター、通信機器、懐中電灯は必ず持って入山しましょう。

④日帰り登山の場合は、日が暮れる前に下山しましょう。

⑤万が一遭難した場合は、翌朝まで待機し、明るくなってから行動しましょう。また、捜索中のヘリコプターが見えたら、タオルや目立つものを大きく振って知らせましょう。

交番だより

警察署からの安心安全に関わる情報を皆さんにお届けします。

■春山における山岳遭難の現状

令和元年中、県内では55人の方が遭難し、24人が負傷、31人が無事救助されています。

このうち4、5月中のいわゆる春山では、山菜採り目的で入山した8人が道迷いやクマ被害によって遭難し、登山目的で入山した1人が道迷いにより遭難しています。

昨年のゴールデンウィーク期間中には、山菜採りで4人、登山で1人が遭難しています。

④気象情報を事前に確認し、登山中に天候が急変した時は登山を中止しましょう。また、春山では、山頂は降雪ということが多いため、冬山の装備を準備して登りましょう。

⑤笛・鈴・ラジオ等、クマよけの道具を準備して入山しましょう。

⑥山中での発病は、早期の救助が期待できず、大事に至ることが予想されます。自分の体力や健康状態に応じた行動をとり、無理をしないようにしましょう。

⑦日帰り登山の場合は、日が暮れる前に下山しましょう。

⑧万が一遭難した場合は、翌朝まで待機し、明るくなってから行動しましょう。また、捜索中のヘリコプターが見えたら、タオルや目立つものを大きく振って知らせましょう。

金ケ崎交番
☎44-5227
永岡駐在所
☎44-3310

子育て支援課

金ケ崎町西根樋水 53

☎44-4611 FAX 44-4337

e-mail: kosodate@town.kanegasaki.wate.jp

子育て広場

子育て支援課からのお知らせ

子育て支援窓口について

子育て支援課では、母子健康手帳の交付や子育てに関する相談を受け付けています。

相談内容に応じた子育てサービスの紹介や必要な機関にお繋ぎします。

また、子育て情報ガイドや子育て支援通信「にこにこ子育て」の発行、モバイルメール「すこやか子ども情報」の配信も行っています。

■相談内容 母子保健、児童手当、児童扶養手当、ひとり親の方の相談、子育てサークルの紹介、ファミリー・サポート・センターかねがさきの紹介など子育て支援課まで お気軽にご相談ください。

なお、幼稚園・保育所等に関しては、教育委員会事務局が相談窓口となります。

～子育て応援ガイド～

5月5日(火)～5月11日(月)は
児童福祉週間です!

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について、国民全体で考えることを目的に毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を児童福祉週間と定めています。

次代を担う子どもたちの健全かつ安心・安全な環境づくりを進めるために子ども自身、保護者や家庭はもちろんのこと、地域社会でも子育てについて考えるきっかけとしてみませんか。



町立図書館

☎41-1900 FAX 44-5661

金ケ崎町西根西地蔵野 5 開館時間: 10:00～19:00

図書館だより

図書館からのお知らせ

Baby&Kids 企画展

「おいしくたのしい食育絵本」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため状況により閉館となる場合があります。開館の際には、下記の企画を予定しております。

☆春のBaby&Kids 企画展「おいしくたのしい食育絵本」with 保健福祉センター

■期日 開催中～令和2年6月28日(日)

■場所 入口本棚コーナー

新年度からは季節ごとに新しい企画を皆様にお届けします。春は、Baby&Kids 企画展と題して子ども達に向けた企画をご用意しました。

保健福祉センターと連携し親子を対象にした食育絵本を展示しますので幅広い年齢層の方にお楽しみいただけたらと思います。

information

▶新年度からベビールーム新設!!

新年度から赤ちゃん向けにベビールームを新設しました。現在の対面朗読室にマットを敷き、親子が座ってご利用できるようにするとともに、赤ちゃん向けの絵本もご用意します。お子さんが安心して図書館をご利用していただけるように準備致しましたので、どうぞ皆さんお越しく下さい。

■場所 対面朗読室



花の命は短くて・・・

一度目は、京都の有名神社で、満開の桜の下で着物を着て長時間写真を撮っている外国人グループだ。女性2名が舞妓さんもどきの着姿で、仲間がシャッターを切っていたが、女性が手に持っていたのは手水の柄杓2本ずつ、ふたりに計4本。その結果、手水には数本しか柄杓がなく、日本人は列を待って手で手を清めていた。私

ふるさとへの 風だより

金ケ崎ふるさと大使
おいかわ まなぶ
及川 学さん
千葉市在住



桜の見ごろはとても短くてはかない。千葉にある我が家の庭にも、3月には梅、4月には桜と桃、5月にはツル薔薇が咲き、月替わりにもとても美しく咲いてくれる。この中で最も華やかな桜は盛りが期待できず、その風情を介せずに興ざめな思いをすることが最近増えている。

が岩手弁交じりの英語で注意して一時はやめたが、参拝後にまたそこを通ると再びやっていた。注意してダメならば、どこまで遡って日本文化を説明をしなければならぬのかと腹立たしくなった。

一度目は、私の勤務地がある秋葉原。昨年、ランチ後にブラブラ桜並木を歩いていると、ビルの一階正面に赤い鳥居があり、その後ろのガラス扉の中に、狛犬ならぬ狐の石像と桜の造花があった。これは稲荷神社だから参拝しようと思いつつも、ガラス扉の中とは変だと様子を見ると、ガラス扉にポスターが貼っており、「巫女喫茶・ご新規募集中」の表示。秋葉原はメイド喫茶がありオタクカルチャーの本場だが、ここまで茶化した二社神社とはひどいものだ。ほんに、「花の命は短くて、見苦しきことのみ多かりき」

★首都圏在住の金ケ崎町出身やゆかりのある皆さまの入会を歓迎します。
☎ 事務局 (金澤志年)
☎・FAX 044-711-2310
▶mail skshoukai@gmail.com